

激闘！！ 秋季クラスマッチ

10月25日(金)、本校グラウンドにて 秋季クラスマッチを行いました。

種目の選定は、生徒たちの投票により決定しました。

爽やかな秋晴れの下、各種目とも、生徒一丸となって優勝を目指して奮闘しました。



総合優勝

畜産科3年

準優勝

農業土木科1年

綱引き

優勝 畜産科3年

準優勝 生活科学科2年

障害物リレー

優勝 定時制農業科Aチーム

準優勝 農業土木科1年

ムカデリレー

優勝 畜産科3年

準優勝 園芸科3年

台風の日

優勝 農業土木科1年

準優勝 農業土木科3年

大縄跳び

優勝 農業科1年・園芸科3年

あいさつ

今回の「秋季クラスマッチ」を開催できうれしく思います。18日は雨天のため延期になり開催が危ぶまれましたが、予備日の25日に実施ができ、とても安心しました。前日の夜に雨が降ったため、準備が十分にできていないというトラブルもありましたが、当日朝早くから先生や役員たちと準備をし、予定通りに開催できました。来年のクラスマッチで中心となる2年生が積極的に準備に参加し、機材の場所や設置方法を覚えてくれたため、安心して成達会を引き継ぐことができると思いました。来年度も充実したクラスマッチになることを祈っています。

成達会会長 島田 基作（畜産科3年）

生徒たちの感想（一学年）

・私は秋季クラスマッチで頑張ったことが2つあります。

1つ目はムカデ競走です。ムカデでは自分の班の人と息を合わせて走れるように練習し、本番では決勝戦まで行きましたが1位を獲ることはできませんでした。しかし、決勝戦で息を合わせ練習以上の速さで走ることができました。

2つ目は大縄跳びです。大縄では練習の時には10回以上跳べていて本番では20回跳べれば良いと思っていましたが、いざ本番になると29回という記録をだし、1位を獲れました。

私はこの秋季クラスマッチで「絆をより深めれば1位を獲ることができる」ということを学びました。

私は夏のクラスマッチのバレーボールで、仲間につなぐことができず負けてしまったので、今回は全力でできたと思います。

農業科 1年



・秋季クラスマッチは、団体競技なので、みんなが協力してそれぞれの競技に取り組んでいました。様々なアクシデントがあり、あまりよい結果を出すことができなかったけれど、一人一人が練習の成果を発揮し、力を合わせて最後まで頑張ることができました。このクラスマッチを通して、みんなの仲や団結力が高まったと思います。

・今回のクラスマッチは、色々なハプニングがあり、大変だったけれど、みんなで一致団結し、楽しめたので、心に残るクラスマッチになりました。本番は練習のようにはいなくて勝てなかったのが、来年は何か一つの種目でも勝てたらいいなと思います。

畜産科 1年

・ 高校生になって2回目のクラスマッチ

1回延期になって、どうなるかと思ったけれど、無事にできて良かったです。

みんなでリズムを合わせて跳ぶ大縄は、とても楽しかったです！ 今までで最高の回数を跳ぶことができました。

園芸科 1年



- ・ 春季のクラスマッチとは変わり、秋季のクラスマッチはクラス一致団結し、皆で同じ目標に向かって取り組みました。私はムカデリレーと障害物リレーの二人三脚に出場し、大縄では縄を回しました。

ムカデリレーは中学校でやるはずの競技でしたが、コロナの影響でできずとても楽しみにしていました。最初は皆で息を合わせて歩くことができませんでしたが、練習を重ねるごとに走ることができるまでに成長しました。また本番の予選では1年生の中で1位という結果でゴールしました。皆で勝ち取った1位はとてもうれしいものでした。

大縄の練習では、1・2回くらいが基本で、最高で13回くらいしか跳べませんでした。とても不安でしたが、本番では覚醒することを期待していました。緊張感がある中のスタートでしたが、初めのうちに10回以上跳べました。その後、5分間縄を回すことはとても大変でしたが、私としては10回以上跳ぶことを目標にしていたので、目標を達成できてとても良い思い出になりました。

- ・ 秋のクラスマッチに参加して、楽しむことは大切だと感じました。練習ではつまらなそうにしていた人も本番は一生懸命に参加していて、また転んでしまった人に「大丈夫？」と声をかけていたり、「頑張って」とお互いに声をかけあったりするなど、クラスの皆がどの競技にも楽しみながら積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。その結果、春のクラスマッチとは違った種目でクラスで協力することができ、クラス皆の仲が深まったように感じました。どの競技も優勝することは出来なかったけれど、声をかけ合いながら楽しくできたことが一番だと感じました。次は総合優勝目指してクラス全体で頑張っていきたいです。

生活科学科 1年

・クラスマッチを終えて私は感動しました。なぜなら全学科で農業土木科1年生が2位という結果を残せたからです。来年度のクラスマッチでは優勝を目指して頑張りたいです。

・私はクラスマッチで大縄飛びと台風の目という種目にでました。台風の目では体育の時間にたくさん練習しました。最初はタイムが2分ほどで、先生から1分50秒ぐらいじゃないと1位はとれないと言われてしまいました。ですが、練習回数が増すごとに1分50秒に近づいていき、本番では1分40秒近くで1位を取ることができました。クラスの仲間と1位を取ることができてとてもうれしかったです。

・クラスマッチを終えて、私は「みんなと協調性を高め合いながら練習すること」を個人の目標とし、意識して取り組むことができました。また、みんなと一致団結して準優勝ができたことで、クラスの仲が深まり、より協調性を高めることができました。結果、とても良いクラスマッチになったと思います。そして、これからもみんなとともに集団生活を大切にして、今後の学校行事にも取り組んでいきたいです。

・私がクラスマッチで心に残ったことは、練習中のクラスの雰囲気です。私の参加した種目の台風の目では、最初の頃は、良い記録を出すことができませんでした。しかし、チームが一丸となり練習をした事で、本番では、一位をとることができました。これからも、このようなクラス全体で協力して行える行事を楽しみにしています。

農業土木科 1年



・私は今回のクラスマッチで色々なことを頑張り、色々な発見をすることが出来ました。その中でも特に印象に残った2つを紹介したいと思います。

1つ目は、努力したことです。私は初めてムカデリレーをしました。最初は、足の動きや走るスピード、タイミングよく声を出しながらするのがとても大変でした。しかし、友達と沢山練習し、努力したおかげでできるようになり楽しむことができました。

2つ目は、クラスの良さです。私のクラスは自分の出していない競技の応援をしっかりとできる人が多かったです。また、配布された水をその場に捨てる人がひとりもない、当たり前のことを当たり前出来る人がたくさんいるクラスです。

私はこのクラスでクラスマッチができて良かったと思いました。

・クラスマッチをして私が印象に残ったことがいくつかあります。

まずは、出場した競技のことです。私が出場した競技は「大縄跳び」と「ムカデ競争」でした。大縄をクラスの全員で同時に飛ぶのは想像していたよりも難しく、中々思うようには飛べませんでした。本番では、飛べなくてイライラしてきたみんなに「大丈夫！落ち着いて！」と声をかけている人がいて、落ち着いて跳ぶことができました。ムカデ競争は5人で同時に歩くので息を合わせるのが難しく、しかも私は体調を崩し練習にあまり参加出来なかったので、家でムカデ競争のコツを調べたりして私なりに足を引っ張らないようにしました。

次に、クラスみんなの様子です。当日、みんなを見ていると、応援している人やお互いを励まし合ってる人たち、自分の競技を一生懸命頑張っている人たちが沢山いました。それは私のクラスだけでなくどのクラスも同じで、グラウンド全体が熱くなっているようで圧倒されました。

私はまだ1年生でクラスマッチは3年生になるまでに2回行われます。だから、その時までに体力をつけて今よりみんなの役に立てるように努力したいです。

・今回のクラスマッチはいろいろ知ることができたと思います。

私は「障害物競争」と「台風の目」に出場しました。私はどちらも決勝まで進むことができましたが、これはクラスメイトの頑張りがあったからこそだと思っています。障害物競争で私はパカパカを使って2人抜かすことができましたが、他の種目の人たちも順位維持優先で安定型を取るなど、みんなで頑張ったからこそその結果だと思っています。台風の目もそうですが、私たちのチームの内側の人々が根気強く引っ張ることができたからこそ成り立ったのでチームの人達には感謝しかありません。

他の競技の人たちの頑張りも見えていたので今回のクラスマッチは本当にいろいろ知ることができてとても良かったです。

・私は足を怪我してしまい、競技に出られずに応援をしているだけでしたが、その分頑張っているクラスメイトの姿をたくさん見られたり、他のクラスの友達の活躍を見られて、みんなとは違う視点から沢山の人の活躍や、頑張っているところを見ることができて、個人的にはとても充実したクラスマッチになりました。

・1週間延期して10月25日にクラスマッチがあった。天気は曇りで運動しやすかった。私はムカデリレーに出場した。練習時クラスの中では一番速く、1走者目をやらせてもらった。でも、このチームも練習をとて頑張っていて、どんどん上達していくのが見ていて楽しかったし、嬉しかった。最初はゆっくり足を合わせて歩くのが精一杯だったけど、練習を重ねていくうちにチームのみんなと息があってきて速く走れるようになった。練習の時、休みの人の種目に助っ人で参加させてもらったりして障害物リレー以外の種目すべて体験できた。どれも楽しくてみんなで一丸となって頑張れることが嬉しかった。本番では3位でバトンを渡すことができた。台風の目では急遽決勝に出場することになり、1度しか練習したことがなかったのが不安でいっぱいだった。でも結構うまくできて楽しかった。結果は最下位だったけど、みんな楽しんでやっていて、私自身も楽しめたので良かった。クラスの仲が深まったと思う。

食品化学科 1年



・今回のクラスマッチでの思い出は、クラスがひとつになって競技を楽しんだことです。

私は障害物リレーの二人三脚に友達と参加しました。2人で練習してアドバイスしながら声を掛け合い、本番では練習よりも速く走ることができました。

そして、もう一つの思い出は大縄跳びです。大縄は、減多にないみんなで同時に跳ぶという難しい競技で、練習ではなかなか跳べず苦戦しました。跳ぶ位置を変えたり順番を工夫したりして跳ぶ練習をしていましたが、なかなかうまく跳ぶことができませんでした。しかし、先生が「声を掛け合うことを大切に」と教えてくれました。本番では声を掛け合い、先生のアドバイスもあり、練習の時よりも多く跳ぶことができました。

今回のクラスマッチで学んだことは「声を掛け合うこと」です。それにより緊張や不安も気にせず、クラスひとつになって競技に参加できました。来年は優勝できるように声をかけ合うことを大切にしたいです。

・今回のクラスマッチの練習から本番までの間にクラス間の仲が深まったと思います。その理由は、大縄の練習でクラス全員が本番まで少しでも多く跳ぶ回数を増やしたいと思い、試行錯誤して練習し、本番に近づくにつれ回数がだんだん増えていったからです。大縄は、他の競技のようにクラスの代表が参加するのではなく、全員が参加する必要があります。最初の練習では、全員の息が合わず1回で止まってしまうことが多々ありました。しかし、どうやったらもっと跳べるのかを考え、並び順を変えたり、跳ぶ場所を変えて、改善できるところをみんなで話し合いました。その結果、本番では、最初は1回しか跳べなかったのが11回跳ぶことができ、クラスで一致団結することができました。そのとき私はとても嬉しかったです。1回しか跳べなくても、みんなが協力すればもっと跳べるようになるんだと実感しました。

これからたくさん学校行事があるので、その時もクラスで一致団結して行事を成功させたいです。

農業経済科 1年



・クラスマッチ当日、出席者が5人しかおらず、焦ってしまった。「え、なんで来ないの?」と不満にも思ったが、クラスマッチを終えた感想は、大変だったけれど楽しかったということだった。夏にもクラスマッチをやったが、夏の時とはまた別の楽しさを感じることができた。体育の時間やLHRの時間を使って、みんなで各々やる競技を練習して、先輩達との合同練習もたった1回だったけれど、その1回の練習がすごく大切だったなと感じた。

8人でやる障害物リレーが、5人しかいなくて、みんなでどうしようかと話していたら、2年生の先輩方が足りない人数のところを埋めてくれて、すごく優しくて感謝してもしきれないです。

このクラスマッチで、よりP1の絆と団結力が深まったと思う。次は水農祭に向けてみんなで協力して頑張っていきたい。

定時制農業科 1年

